

令和

## 1 年度 事務事業評価シート

## 事務事業の概要・計画 (PLAN)

|                 |   |                   |  |             |  |  |
|-----------------|---|-------------------|--|-------------|--|--|
| 事務事業名           | (水道)検定満期メーター取替事業  | 会計名称<br>予算科目      | 水道特別<br>1 款 1 項 2 目 事業番号 9906  | 担当課<br>所属長名 | 水道課<br>野島康博                                  |  |
| 事業評価の有無         | ■ 評価対象事業 <input checked="" type="checkbox"/> 評価対象外事業 (事業の概要・結果のみ) |                   |  | 担当責任者名      | 藤本慎二   |  |
| 法令根拠等           | 計量法   |                   |  | 実施期間        | 【開始】 令和／平成 17 年度<br>【終了】 令和 年度(予定)<br>■ 設定なし |  |
| 総合計画での位置付け      | 快適空間都市の創造<br>潤いのある水環境づくり  |                   |  |             |  |  |
| 総合計画における本事業の役割  | 水道メーターの検針により水道料金を確定するため、計量法に基づいて実施する、必要不可欠な事業である。                 |                   |  |             |  |  |
| 事業の対象           | 上水道加入者  | 事業の目的             | 水道メーター検定満期（8年）の有効期間内に、市内の該当する水道メーターを交換し、公正な料金調定の基となる正確な水道量を検針できるようにする。             |             |  |  |
| 事業の内容<br>(整備内容) | 計量法で定められている検定満期が到来するまでに、該当する水道メーターを、検定済みのメーターと交換する。               | 昨年度の課題に対する具体的な改善策 | 作業内容や作業目的などをメーター取替対象となる上水道使用者に、事前に葉書を送付することで周知を図る。メーター取替対象外については、広報誌等により工事等の案内をする。 |             |  |  |

## 事業活動の内容・成果 (DO)

| 事業費及び財源内訳(千円)           |           |   |       |        |       |         | 事業活動の実績(活動指標)    |           |              |              |        |              |  |
|-------------------------|-----------|---|-------|--------|-------|---------|------------------|-----------|--------------|--------------|--------|--------------|--|
| 項目                      | 前年度決算     | 当初予算額   | 補正予算額 | 継続費その他 | 翌年度繰越 | 決算額     | 項目               | 単位        | 前年度実績        | 1年度予定        | 9月末の実績 | 1年度実績        |  |
| 直 接 事 業 費               | 8,543     | 8,078   | 0     | 0      | 0     | 7,160   | 交換費用<br>メーター交換個数 | 千円<br>個   | 8543<br>2050 | 8078<br>1652 | 0<br>0 | 7160<br>1649 |  |
| 国庫支出金                   | 0         | 0   | 0     | 0      | 0     | 0       |                  |           |              |              |        |              |  |
| 県支出金                    | 0         | 0   | 0     | 0      | 0     | 0       |                  |           |              |              |        |              |  |
| 地 方 債                   | 0         | 0   | 0     | 0      | 0     | 0       |                  |           |              |              |        |              |  |
| そ の 他                   | 0         | 0   | 0     | 0      | 0     | 0       |                  |           |              |              |        |              |  |
| 一 般 財 源                 | 8,543     | 8,078   | 0     | 0      | 0     | 7,160   |                  |           |              |              |        |              |  |
| 職員の人工(にんく)数             | 0.17      | 0.17  |       |        |       | 0.15    |                  |           |              |              |        |              |  |
| 1人工当たりの入件費単価            | 7,982     | 7,992   |       |        |       | 7,992   |                  |           |              |              |        |              |  |
| ※ 直接事業費+入件費             | 9,900     | 9,437   |       |        |       | 8,359   |                  |           |              |              |        |              |  |
| 主な実施主体                  | 直接実施      | 実施形態(補助金・指定管理料・委託料等の記載欄)                              |       |        |       |         |                  |           |              |              |        |              |  |
| 向こう5年間の直接事業費の推移<br>(千円) |           |   |       |        |       |         | 2 年度             | 3 年度      | 4 年度         | 5 年度         | 6 年度   | 5年間の合計       |  |
|                         |           |   |       |        |       |         | 6,000            | 6,000     | 6,000        | 6,000        | 6,000  | 30,000       |  |
| 成 果 指 標                 | 指 標       | メーター交換実数÷年度内検定満期メーター個数×100<br>カッコ内は、メーター1個当たりの交換単価(円) |       |        |       | 単位<br>% | →                | 区分年度      | 前 年 度        | 1 年 度        | 2 年 度  | 目標 每 年 度     |  |
|                         | 指標設定の考え方  | 検定満期の有効期間内に、確実に交換を実施する。                               |       |        |       | 目標      |                  | 100       | 100          | 100          | 100    | 100          |  |
|                         | 指標で表せない効果 |   |       |        |       | 実 績     |                  | 100(4167) | 100(4342)    |              |        |              |  |

事務事業評価 (CHECK)

| 新たな課題や当初の改善策に対する対応状況<br>(今年度の途中経過) |             | メーター取替作業について、利用者に事前に通知を行うことで苦情等の発生を最小限に抑える。 |              |   |   |   |   |             |   |  |  |  |  |
|------------------------------------|-------------|---|--------------|---|---|---|---|-------------|---|--|--|--|--|
| 事務事業の評価                            | 自己判定（担当責任者） | 妥当性   | 目的の妥当性       | 5 施策の目的を果たすために必要不可欠な事業である。<br>4 概ね、施策の目的に沿った事業である。<br>3 この事業では施策の目的を果たすことができない。                               | 5 | 合計点が<br>14~15 : S<br>10~13 : A<br>8~9 : B<br>5~7 : C<br>3~4 : D | S | 事業成果・工夫した点  | 取替作業に伴うお知らせ葉書を取替月の前月に対象の各戸に通知するよう送付を行った。<br>メーター取替作業の日程を事前に知らせるなどで、苦情無く作業を行うことができた。                                     |  |  |  |  |
|                                    |             |   | 社会情勢等への対応    | 5 社会情勢等の二つに合致する。又は、行政管理上必要な事業である。<br>4 社会情勢に概ね適合する。又は、行政管理上、概ね妥当である。<br>3 社会情勢又は行政管理事務に対応しておらず、見直しが必要である。     | 5 |   |   |             |   |  |  |  |  |
|                                    |             |   | 市の関与の妥当性     | 5 市が積極的に関与・実施すべき事業である。<br>4 今とのところ市の関与・実施は妥当と判断できる。<br>3 市は関与しないで、民間や市民団体等に委ねるべきである。                          | 4 |   |   |             |   |  |  |  |  |
|                                    |             | 有効性   | 事業の効果        | 5 市民生活の課題・又は行政内部の課題解決に大いに貢献している。<br>4 市民生活や行政内部の課題解決に向けて対応できている。<br>3 市民生活や行政内部の課題解決になっていない。                  | 4 | 合計点が<br>14~15 : S<br>10~13 : A<br>8~9 : B<br>5~7 : C<br>3~4 : D | A |             |   |  |  |  |  |
|                                    |             |   | 成果向上の可能性     | 5 既に相応の成果を得ているが、まだまだ成果向上の余地がある。<br>4 今後、成果の向上が期待でき、事業継続の必要がある。<br>3 目的は十分達成されており、事業継続の必要性は低い。                 | 4 |   |   |             |   |  |  |  |  |
|                                    |             |   | 施策への貢献度      | 5 施策推進への貢献は最大である。<br>4 施策推進に向け、効果を認めることができる。<br>3 施策推進につながっていない。  | 4 |   |   |             |   |  |  |  |  |
|                                    | 効率性         | 手段の最適性                                      | 手段の最適性       | 5 現状では最善の手段であり、他の方策を検討する必要はない。<br>4 最適な手段であるが、更に民活、他事業との統合・連携等の検討の余地がある。<br>3 活動指標の実績も上がりず、効率的な手段の見直しが必要である。  | 4 | 合計点が<br>14~15 : S<br>10~13 : A<br>8~9 : B<br>5~7 : C<br>3~4 : D | A | 事業の苦労した点・課題 | メーター取替を行うにあたり、多い月は800件程度になるため、営業や不在時等で取替業者に配慮をしてもらうことが必要である。  |  |  |  |  |
|                                    |             |   | コスト効率        | 5 投入コスト以上の成果を得ており、コスト削減の余地は見当たらない。<br>4 コスト削減に向け取り組みを実施し、それに見合う成果を得ている。<br>3 満足する成果にも達せず、まだまだ事業費・人件費の削減余地がある。 | 4 |   |   |             |   |  |  |  |  |
|                                    |             | 市民（受益者）負担の適正                                | 市民（受益者）負担の適正 | 5 他事例と比較し、財源・税負担も含め市民の負担は適正と認める。<br>4 他事例と比較し、財源・税負担も含め市民負担の検討の余地がある。<br>3 他事例と比較し、財源・税負担も含め市民負担の見直しが必要である。   | 4 |   |   |             |   |  |  |  |  |
| 評価                                 | 一次判定（所属長）   | 妥当性   | 目的の妥当性       | 5 施策の目的を果たすために必要不可欠な事業である。<br>4 概ね、施策の目的に沿った事業である。<br>3 この事業では施策の目的を果たすことができない。                               | 5 | 合計点が<br>14~15 : S<br>10~13 : A<br>8~9 : B<br>5~7 : C<br>3~4 : D | S | 事業の方向性      | ■ 事業継続と判断する。<br>□ 事業縮小と判断する<br>□ 事業廃止と判断する<br>(判断の理由)<br>計量法で定められた水道メーターの取替事業であるため、事業継続と判断する。                           |  |  |  |  |
|                                    |             |   | 社会情勢等への対応    | 5 社会情勢等の二つに合致する。又は、行政管理上必要な事業である。<br>4 社会情勢に概ね適合する。又は、行政管理上、概ね妥当である。<br>3 社会情勢又は行政管理事務に対応しておらず、見直しが必要である。     | 5 |   |   |             |   |  |  |  |  |
|                                    |             |   | 市の関与の妥当性     | 5 市が積極的に関与・実施すべき事業である。<br>4 今とのところ市の関与・実施は妥当と判断できる。<br>3 市は関与しないで、民間や市民団体等に委ねるべきである。                          | 4 |   |   |             |   |  |  |  |  |
|                                    |             | 有効性   | 事業の効果        | 5 市民生活の課題・又は行政内部の課題解決に大いに貢献している。<br>4 市民生活や行政内部の課題解決に向けて対応できている。<br>3 市民生活や行政内部の課題解決になっていない。                  | 4 | 合計点が<br>14~15 : S<br>10~13 : A<br>8~9 : B<br>5~7 : C<br>3~4 : D | A |             |   |  |  |  |  |
|                                    |             |   | 成果向上の可能性     | 5 既に相応の成果を得ているが、まだまだ成果向上の余地がある。<br>4 今後、成果の向上が期待でき、事業継続の必要がある。<br>3 目的は十分達成されており、事業継続の必要性は低い。                 | 4 |   |   |             |   |  |  |  |  |
|                                    | 効率性         | 手段の最適性                                      | 施策への貢献度      | 5 施策推進への貢献は最大である。<br>4 施策推進に向け、効果を認めることができる。<br>3 施策推進につながっていない。  | 4 | 合計点が<br>14~15 : S<br>10~13 : A<br>8~9 : B<br>5~7 : C<br>3~4 : D | A | 所属長の課題認識    |   |  |  |  |  |
|                                    |             |   | コスト効率        | 5 投入コスト以上の成果を得ており、コスト削減の余地は見当たらない。<br>4 コスト削減に向け取り組みを実施し、それに見合う成果を得ている。<br>3 満足する成果にも達せず、まだまだ事業費・人件費の削減余地がある。 | 4 |   |   |             |   |  |  |  |  |
|                                    |             | 市民（受益者）負担の適正                                | 市民（受益者）負担の適正 | 5 他事例と比較し、財源・税負担も含め市民負担の検討の余地がある。<br>4 他事例と比較し、財源・税負担も含め市民負担の見直しが必要である。                                       | 4 | 合計点が<br>14~15 : S<br>10~13 : A<br>8~9 : B<br>5~7 : C<br>3~4 : D | A |             | 水道料金徴収の基礎となる水道メーターを計量法に基づいて取替を実施する必要不可欠な事業である。メーターが設置されている場所がほとんど個人の敷地内であるため、取替作業実施時には、作業内容や目的等を利用者に事前周知するなど理解を得る必要がある。 |  |  |  |  |

|   |                  |  |   |
|---|------------------|--|---|
| 施<br>策<br>を<br>踏<br>ま<br>え<br>た<br><br>判<br>断 | 二<br>次<br>判<br>定 | <input type="checkbox"/> 一次判定結果は以下の点について良好と評価し、更なる事業推進を求める。        |  <p>指摘事項を踏まえ、事務改善、事業推進に努め、今年度の事務事業評価シートに反映させること。</p> |
|   |                  | <input checked="" type="checkbox"/> 一次判定結果のとおり事業継続と判断する。           |   |
|   |                  | <input type="checkbox"/> 一次判定結果のとおり事業継続と判断するが、以下の課題を新たに追加する。       |   |
|   |                  | <input type="checkbox"/> 一次判定は以下の点について外部評価が必要と判断し、行政評価委員会に諮ることとする。 |   |
|   |                  | <input type="checkbox"/> 一次判定結果のとおり事業縮小と判断し、行政評価委員会に諮ることとする。       |   |
|   |                  | <input type="checkbox"/> 一次判定結果のとおり事業廃止と判断し、行政評価委員会に諮ることとする。       |   |
|   |                  | <input type="checkbox"/> 既に事業廃止が決定していることから、廃止に向けた手続を行う。            |   |
|   |                  |  |   |
|   |                  |  |   |

|            |                  |       |
|------------|------------------|-------|
| 行政評価委員会の答申 | 外<br>部<br>評<br>価 | 答申の内容 |
|------------|------------------|-------|

今後の方針性（ACTION）

|                                  |  |       |
|----------------------------------|--|-------|
| の経<br>最<br>終<br>者<br>判<br>会<br>議 | 事業の方針性   | コメント欄 |
|                                  | <input type="checkbox"/> さらに重点化する。<br><input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続する。<br><input type="checkbox"/> 見直しの上、継続する。<br><input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する。<br>事業を縮小する。<br><input type="checkbox"/> 事業の休止、廃止を検討する。<br>事業を休止、廃止する。 |       |